

一般社団法人 岩の力学連合会
2020年度 第3回理事会 議事録

日時	起案 2020年12月24日	場所	乃木坂ビル 4F (資源・素材学会会議室) Web 会議形式で開催
----	----------------	----	--------------------------------------

理事会	理事	伊藤高敏	○	理事	西山竜朗	×	理事	芥川真一	○
	理事	坂口清敏	○	理事	藤井幸泰	○	理事	西山 哲	○
	理事	佐藤 晃	○	理事	土屋光弘	○	理事	岡田哲実	○
	理事	林 為人	○	理事	森岡宏之	○	理事	横尾 敦	×
	理事	下田直之	○	理事	砂金伸治	×	理事	上田日出男	×
	理事	木崎彰久	○	理事	安原英明	○			
	監事	細野高康	×	監事	早川博之	×	ISR M 役員	オメル藍檀	○
賛助会員会 議 ^{注1)}	奥野哲夫	○	ILC 委員 会 ^{注2)}	京谷孝史	×				

注1) 正式名称：賛助会員会議運営委員会

注2) 正式名称：ILC 研究企画特別委員会

敬称略順不同，○：出席，×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料	頁
資料 2020 理事 03-01	2020年度第2回理事会 議事録確認	1
資料 2020 理事 03-02	JSRM/JSEG 共催 RMEGV2021 準備状況報告	5
資料 2020 理事 03-03	第15回岩の力学国内シンポジウム準備状況報告	10
資料 2020 理事 03-04	会員の入退会確認	13
資料 2020 理事 03-05	編集委員会報告	16
資料 2020 理事 03-06	選挙管理委員会報告	22
資料 2020 理事 03-07	賛助会員会議運営委員会報告	24
資料 2020 理事 03-08	岩盤工学基礎講座の開催について	45
資料 2020 理事 03-09	予算の執行状況確認	48
資料 2020 理事 03-10	名誉会員の推薦について	49
資料 2020 理事 03-11	会員の過去の会費支払い状況について	52
資料 2020 理事 03-12		

【審議および報告事項】

0. 理事長挨拶

理事会に先立ち、伊藤理事長より開会の挨拶があった。

1. JSRM/JSEG 共催 RMEGV2021 準備状況報告（山口大・太田，資料 2020 理事 03-02）

実行委員長である太田先生（山口大学）より、資料に基づき RMEGV2021 準備状況が報告された。準備は順調に進んでいるものの、2021 年 1 月 15 日に締切りを迎えるアブストラクトの申し込みが少ないので、より一層広報して頂くように依頼があった。各国の ISRM National Group に依頼するなど、参加者を増やす方策をとることとした。ISRM 事務局に講演論文の仕様を問い合わせたところ、OnePetro で配信する事情から Abstract 形式は不可で 4 頁以上の Paper 形式にする必要があるとの回答だった。このため、それに合わせて講演論文集を作成することにしたこと、また、講演の応募がし易くなるように、Paper 形式だが分量が少なくても可であることを募集要項に明示するとの報告があった。

2. 第 15 回岩の力学国内シンポジウム準備状況報告（関西大・小山，資料 2020 理事 03-03）

本シンポジウム開催にむけて実行委員会幹事長の小山先生（関西大学）より、資料に基づき 2021 年 1 月の開催に向けての準備状況が報告された。準備は順調に進んでおり、対面とオンラインのハイブリッド形式で実施される予定である事が報告された。講演数としては、特別講演 1 件、基調講演 2 件、口頭発表 102 件、ポスター発表 24 件である事が報告された。また、事前の参加登録者数も 149 名となり、当初予定していた規模での実施が可能になることが報告された。

本シンポジウム関連した問題として、「岩の力学連合会」という名称で Web 検索で本連合会のページがヒットしないことが指摘された。原因は不明であるものの、トップページのニュース配信記事、RockNet mail の配信記事の順番等を入れ替えることで、より検索エンジンにかかるような方策をとるように Rock Net 委員会藤井委員長に依頼した。

3. 2020 年度第 2 回理事会 議事録確認（佐藤：資料 2020 理事 03-01）

去る 10 月 8 日に開催された 2020 年度第 2 回理事会の議事録の確認を行い承認された。

4. 会員の入退会確認（資料 2020 理事 03-04）

資料に基づき、2020 年 12 月 5 日までの会員の入退会状況について確認し、退会の慰留が可能な方や、会費の納付が可能な方の確認を行った。会費を 3 年以上納めていない方々については、督促の後返答がなければ退会扱いとすることとした。また、確認が取れた数名の方々に会費の納付をお願いすることができた。

5. 2020 年度活動方針・計画および報告事項

1) 編集委員会（西山（竜）：資料 2020 理事 03-05）

幹事長の佐藤が代役で編集委員会の議事録を報告した。

2) 国際技術委員（安原： ）

報告事項無し

3) 電子ジャーナル委員会（西山（哲）： ）

これまで J-stage 上に 4 本の論文が掲載され、1 本が査読中である事が口頭で報告された。

4) Rock Net 委員会（藤井： ）

順調に作業が進んでいることが口頭で報告された。

5) 連合会賞選考委員会（坂口： ）

連合会賞の募集が開始されることが口頭で報告された。また、より多くの応募者を募るように各理事に依頼があった。

6) 選挙管理委員会（下田：資料 2020 理事 03-06）

資料の通り選挙管理委員会が設立され、代議員選挙の実施要領が公開されたことが報告された。

7) 賛助会員会議運営委員会（奥野：資料 2020 理事 03-07）

資料の通り賛助会員会議運営委員会の活動状況が報告された。賛助会員会議運営委員会の開催についても、本年度は 11 月 27 日に Web 会議形式で開催された事が報告された。岩盤工学基礎講座については概ね好評であり、特にオンラインあるいは対面とオンラインの併用を希望している賛助会員の方が多いことが報告された。また、オンライン会議の特長を活かした現場紹介や、各大学の実験風景の紹介など実施できるかどうか検討していくこととした。

6. 岩盤工学基礎講座の開催について（木崎：資料 2020 理事 03-08）

資料に基づき、本年度の実施概要について報告があった。また、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、講師の出張が直前で不可能になった場合のキャンセル料については連合会の予算から支出できるものとした。また、会場の板書設備等の確認の依頼があった。

7. 予算の執行状況確認（2019 年度との比較）（佐藤：資料 2020 理事 03-09）

資料に基づき、2019 年度の決算と 2020 年度のこれまでの予算の支出状況の確認を行った。本年度は対面での理事会あるいは委員会の開催ができなかったことから旅費の支出が現状 0 円であり、昨年度の決算額である約 125 万円を大幅に下回っている事が報告された。財政健全化の面では、今後オンライン会議の併用も検討していくことが確認された。

8. 名誉会員の推薦について（佐藤：資料 2020 理事 03-10）

資料に基づき、本連合会における名誉会員の位置づけ、推薦方法等の確認を行い、今後の運営方法について議論した。基本的に理事長経験者で満 65 歳以上の方、あるいは岩の力学分野で大きな功績があったと認められる方を理事会で選定し、その上で社員総会の場で審議することとなった。この方針は内規として次の理事会に引き継ぎ、対象者となる方の漏れがないように確認していくこととした。

歴代理事長の方で名誉会員としては登録されていない方で、既に逝去された方々については、その経緯が不明であることから、名誉会員としての登録に関してはご本人の了解が得られる場合に限ることとした。

9. 会員の過去の会費支払い状況について（佐藤：資料 2020 理事 03-11）

資料に基づき、過去の会員の会費の支払い状況について報告された。その結果、1991 年以前の詳細については追跡不可能である事が報告された。

10. 次期理事会メンバーの選出状況

組織母体学会ごとに理事の選出状況について確認した。概ね順調に人選が進んでいることが確認された。

以上